

## 第3章 教育・文化・スポーツの分野

### ▶ 施策展開の方向（基本構想より）

#### 一人ひとりが生き生きと輝く個性を育む

家庭、学校と地域社会が連携を深めながら、開かれた学校づくりを進め、一人ひとりの個性の尊重を基本として、豊かな人間性と健全な社会性を身につけた次世代を担う子どもを育てていきます。また、地域社会とのふれあいを深め、郷土を愛する青少年を育てていきます。

市民のだれもが生涯を通じ、それぞれの関心に応じて学びながら成長できるよう、生涯学習の環境整備を進めます。

市民のだれもが年齢や体力に応じてスポーツに親しみ、家庭や地域で気軽にレクリエーションを楽しめるよう、「一市民一スポーツ」を推進します。

地域固有の資源の再発見、世界の文化とのふれあいのなかで、生活をより豊かにするさいたま文化の創造を目指します。

### ▶ 施策体系（基本計画より）

#### 第1節 「潤い」のある教育の推進

- (1)きめ細かな教育の推進
- (2)教育環境の整備
- (3)創意ある学校施策の推進
- (4)地域に根ざした教育の推進

#### 第2節 生涯学習の振興

- (1)学習活動の振興
- (2)学習成果を活用する仕組みの整備
- (3)青少年の健全育成

#### 第3節 生涯スポーツの振興

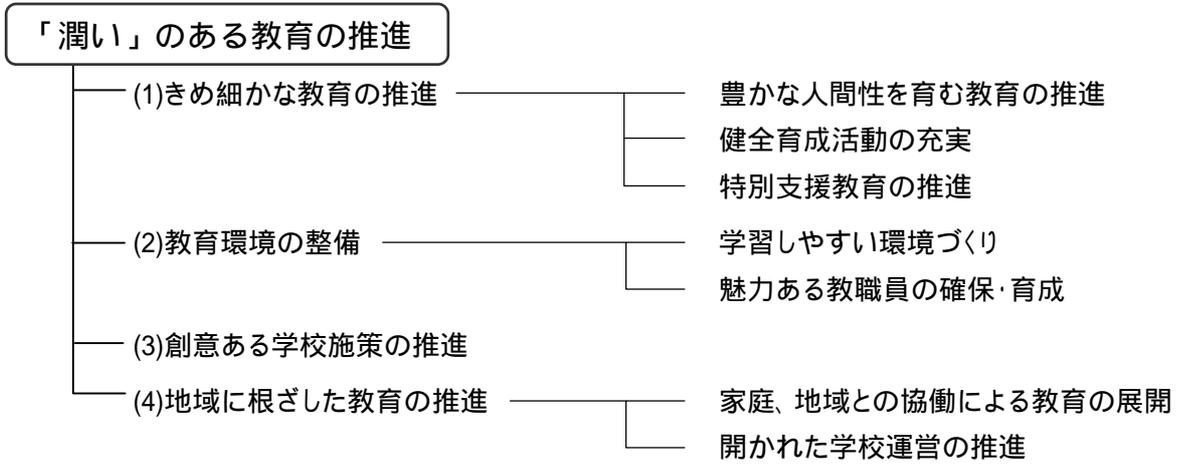
- (1)親しみやすい活動機会の提供
- (2)推進体制の充実
- (3)サッカーのまちづくりの推進

#### 第4節 さいたま文化の創造

- (1)歴史文化資源の保存と活用
- (2)新たな都市文化の創造

## 第1節 「潤い」のある教育の推進

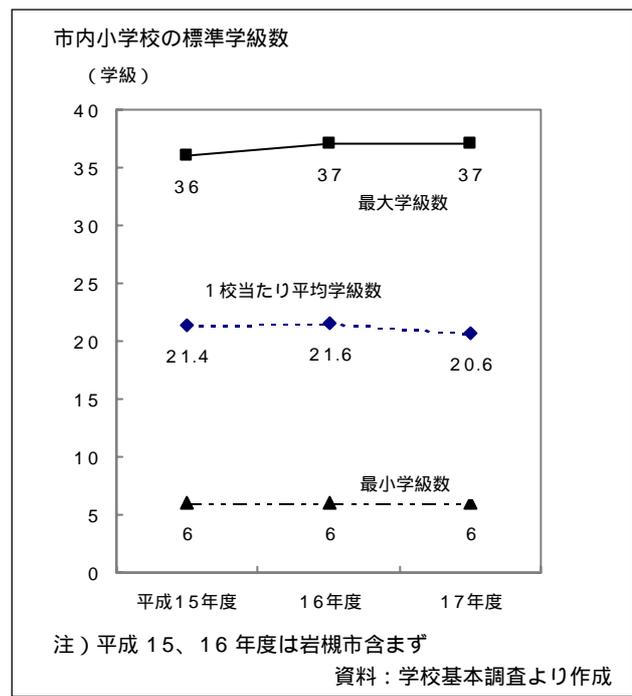
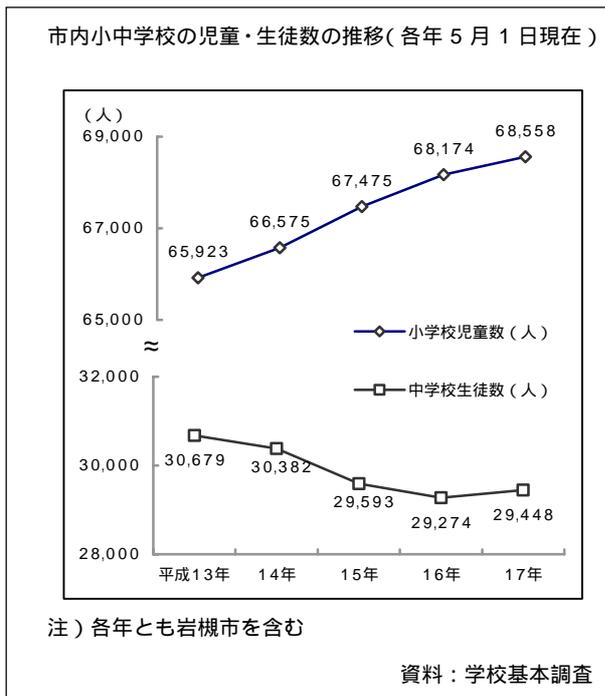
### 施策体系



### 施策の方向性

児童・生徒の個性と能力を伸ばします。  
 過大規模校をなくし、安全・快適に学べる教育環境を整備します。  
 学校づくりのための新しい取り組みを拡大します。

### 参考データ

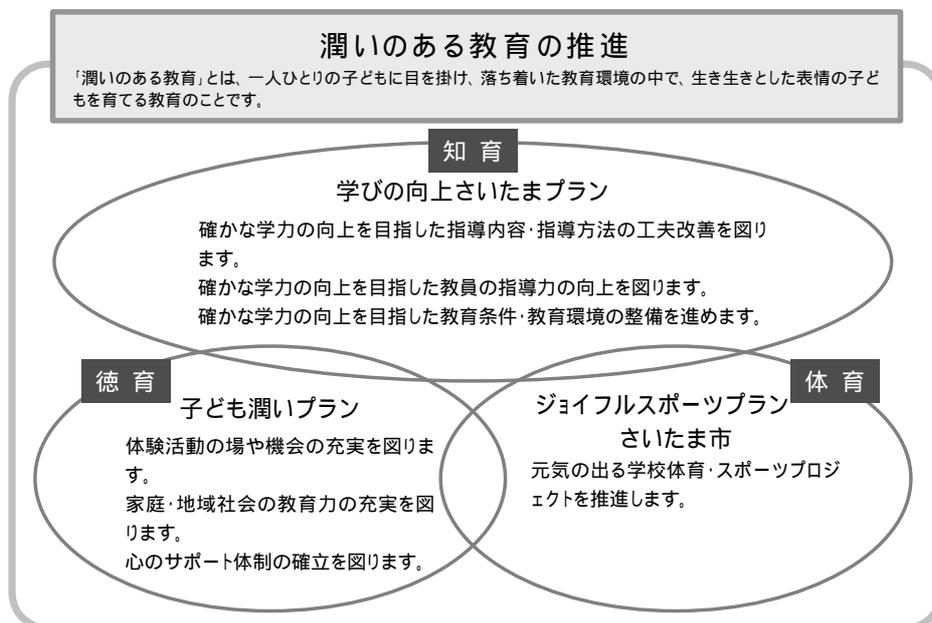


## 実施計画事業

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況(平成17年度当初)	平成20年度末
<p>少人数指導の充実</p> <p>基礎・基本の徹底と子どもたちの個性や能力を伸ばし豊かな心を育むため、教員免許を有する少人数指導サポートプラン臨時教員を小中学校に配置します。</p> <p>〔教職員課〕</p>	<p>臨時教員数 30名 (小学校20名、中学校10名)</p>	<p>135名</p>
<p>環境教育・学習の推進(再掲 p27)</p> <p>環境への意識を高めるため、リサイクル活動や学校緑化コンクールへの参加、学校ビオトープの管理・活用などを充実します。また、環境教育・学習を推進していくための総合的方針・計画を策定し、個人が自発的に環境保全に取り組む活動を支援します。</p> <p>〔環境総務課・指導1課〕</p>	<p>リサイクル活動 実施校62%</p> <p>環境美化活動 実施校63%</p> <p>総合的方針・計画の 検討</p>	<p>90%</p> <p>90%</p> <p>策定 (19年度)</p> <p>推進</p>
<p>特色のある学校づくり推進事業</p> <p>授業や地域の方々の憩いの場に活用できる自然園づくり、地域にある貴重な植物の保存活動、中学生が算数教師として小学校5・6年の算数の学習をサポートするなど、市立幼小中養護高等学校の創造的な特色のある学校づくりの取組を推進するため、毎年10校程度の推進指定校を定め、各学校を支援します。</p> <p>〔指導1課〕</p>	<p>指定校応募学校数 139校</p>	<p>164校 (19年度)</p>
<p>小・中一貫「潤いの時間」の展開</p> <p>国際社会をたくましく豊かに生きる児童生徒の育成を目指すため、潤いの時間を教育課程に新設し、小学校から中学校まで小・中一貫の系統的・継続的なカリキュラムのもと、人間関係プログラム並びに英会話を実施することにより、コミュニケーション能力をはじめとする人間関係の構築に必要な技術を学びます。</p> <p>〔指導1課・指導2課〕</p>	<p>実施準備</p>	<p>英会話実施校数 158校</p> <p>人間関係プログラム見直し</p>

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現状〔平成17年度当初〕	平成20年度末
<b>生徒指導総合計画子ども潤いプランの推進</b> 次代を担う子どもたちの健全育成を図るため、体験活動の場や機会の充実、家庭・地域社会の教育力の充実、心のサポート体制の確立、魅力ある学校づくりの推進の基本施策に基づいたアクションプログラムを展開します。 〔指導2課〕	推進	アクションプログラムの見直し (19年度)  推進
<b>国際理解教育・交流事業(再掲 p123)</b> 市立中学校の生徒や本市在住の高校生などを海外に派遣する国際交流活動、外国語指導助手や地域在住外国人ボランティアによる国際理解教育を充実します。 〔指導1課〕	外国語指導助手 雇用人数 32名  外国人ボランティア登録者人数 32名	32名  50名
<b>情報教育の充実(再掲 p93)</b> 普通教室等の授業用コンピュータの整備を進め、これらを授業に活用するとともに、情報モラルの適切な取り扱いを指導することにより、児童生徒の情報活用能力の向上を図るなど情報社会に参画する態度を育成します。 〔教育研究所〕	小学校コンピュータ室に コンピュータ40台を整備した校数 41 / 100校  普通教室にLANを敷設している学校 0校	101校 / 101校 (19年度1校新設)  158校 / 158校
<b>特別支援教育事業の推進(再掲 p47)</b> 障害のある児童生徒一人ひとりに応じた適切な教育的支援を受けられるよう、市立養護学校に相談センターを整備するなど特別支援教育体制構築に向けた取り組みを進めます。 〔指導2課〕	特殊学級設置校数 35校  通級指導教室設置校 6校	43校  10校  推進

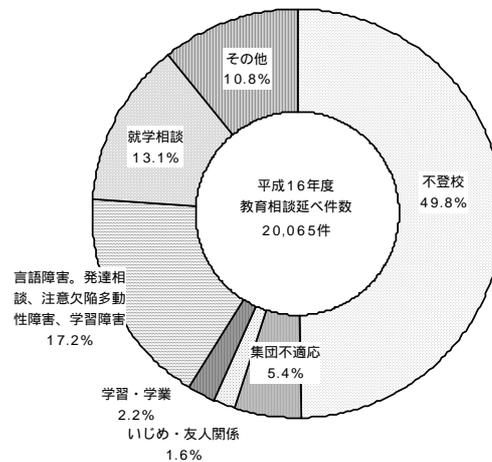
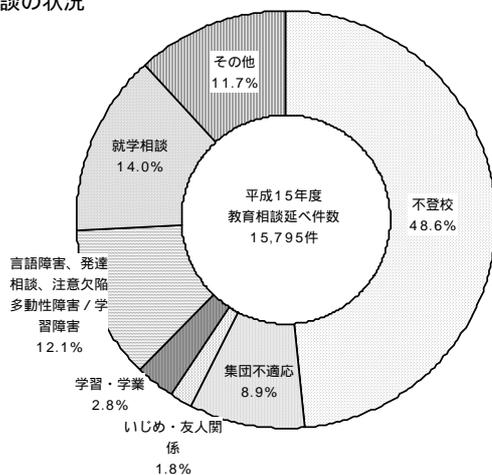
学校教育に関わる諸計画の関連イメージ図



資料：教育委員会学校教育部  
指導1課

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	平成20年度末
<b>教育相談・相談室運営事業</b> 教育に関する様々な相談体制の充実のため、教育相談室や適応指導教室を運営するとともに、すべての中学校に設置したスクールカウンセラーやさわやか相談員によるカウンセリング等、児童生徒の心の悩みや不安の解消に努めます。 〔指導2課〕	推進	充実
<b>過大規模校解消事業</b> 小学校の新設などにより、過大規模校の解消を図ります。 〔教育総務課〕	事業中	推進
<b>小中学校整備事業</b>		
<b>施設改修等の推進</b> 良好な学習環境を確保するため、老朽化した校舎の改修や改築などを行うとともに、校庭の芝生化や武道場未設置の中学校で武道場整備を進めます。 〔学校施設課〕	事業中	推進
<b>耐震補強事業</b> 新耐震設計法(昭和56年)以前の基準により建築された校舎等の耐震性を向上させるため、耐震診断を行い必要に応じ校舎・体育館の耐震補強工事を実施します。 〔学校施設課〕	事業中	推進
<b>空調設備設置事業</b> 図書室・音楽室に加え、普通教室への空調機設備を整備します。 〔学校施設課〕	事業中	推進

教育相談の状況

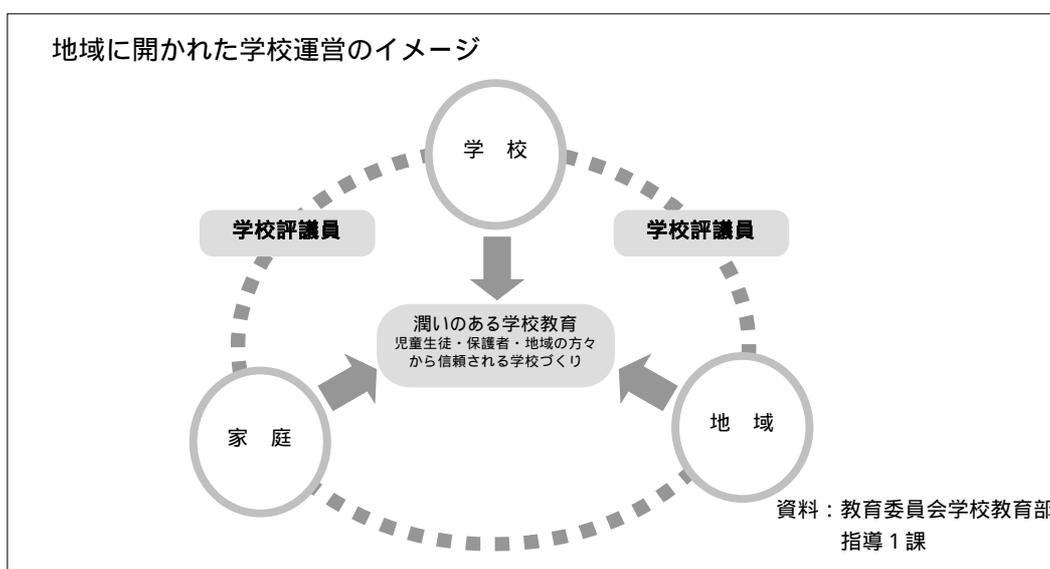
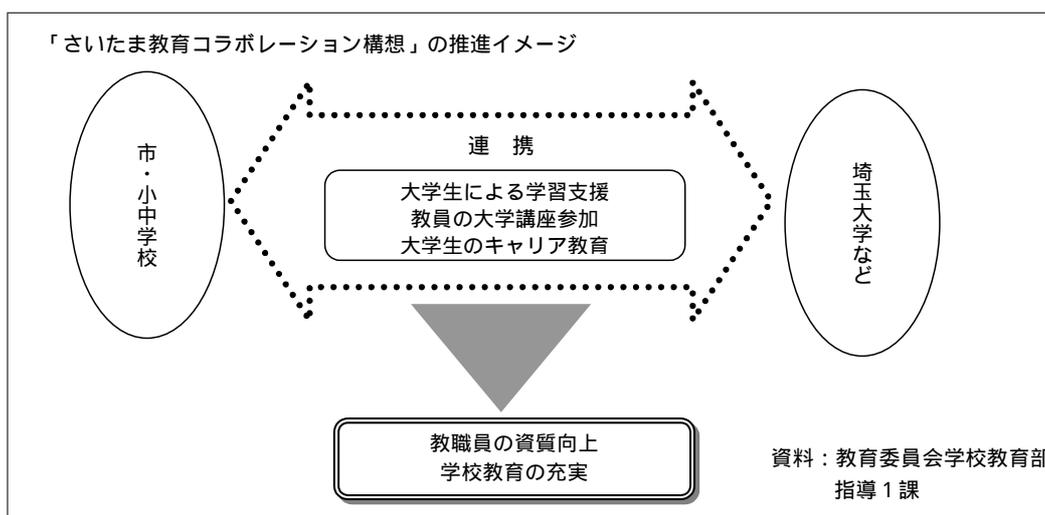


注) 各年とも岩槻市は含まず

資料：教育委員会学校教育部教育研究所

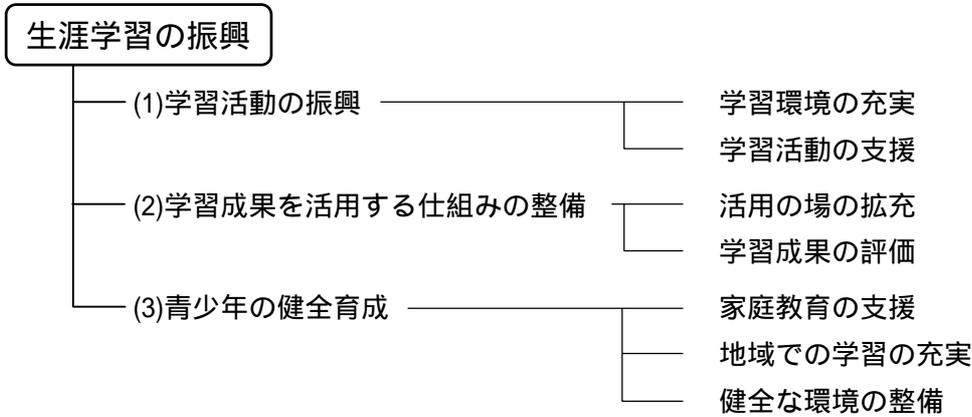
事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現状〔平成17年度当初〕	平成20年度末
<p>学校図書館の充実</p> <p>市立の小中学校全てに、司書を配置するとともに、図書館コンピュータを設置し、蔵書情報のデータベース化・ネットワーク化により、蔵書などの共同利用化を進め、児童生徒の意欲的な学習活動や読書活動を推進します。</p> <p>〔教職員課・教育研究所〕</p>	<p>図書館司書 141人</p> <p>図書館コンピュータ 91校</p>	<p>158人 (全小中学校)</p> <p>158校 (全小中学校)</p>
<p>学校給食施設の整備</p> <p>各学校(地域)の特色を生かした給食の実施及びきめ細やかな食の指導の充実を図り、児童生徒に、より安全でおいしい給食を提供するため、給食センターから給食の提供を受けているすべての小中学校に単独校調理場を設置します。</p> <p>〔学校施設課〕</p>	<p>単独校調理場 整備済の学校 124校</p>	<p>136 / 158校</p>
<p>市立高等学校の整備</p> <p>老朽化した学校施設の耐震補強工事や改築を計画的に進めます。</p> <p>〔学校施設課〕</p>	<p>事業中</p>	<p>推進</p>
<p>中高一貫教育の推進</p> <p>市立浦和高校における併設型中高一貫教育校開設に向けて、具体的な建設計画の立案、教育方針・教育目標などの策定を行います。</p> <p>〔中高一貫教育校開設準備室・学校施設課〕</p>	<p>事業中</p>	<p>併設型中学校開校 (19年度)</p>
<p>さいたま教育コラボレーション構想の推進</p> <p>埼玉大学と連携し、学生による児童生徒への学習支援などの教育ボランティア活動や教員の大学講座への参加、学生へのキャリア教育などを実施し、教職員の資質向上と学校教育の充実を図ります。</p> <p>〔指導1課〕</p>	<p>推進</p>	<p>推進</p>
<p>地域講師派遣事業</p> <p>市内小・中学校の各教科や総合的な学習の時間などに、地域の人材を講師として派遣します。</p> <p>〔指導1課〕</p>	<p>派遣人数 757人</p>	<p>790人</p>
<p>地域に開かれた学校運営の推進</p> <p>家庭・地域の声を生かし、地域の学校としての運営を行うため、市立小・中・高等・養護学校全てにおいて、学校評議員制度を導入するなど、市民の視点での教育改革を進めます。</p> <p>〔指導1課・指導2課・教育総務課〕</p>	<p>学校評議員設置校 159校</p>	<p>163校 (全小中高養護学校)</p> <p>推進</p>

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	平成20年度末
<p>学びの向上さいたまプランの策定・推進</p> <p>基礎学力に加え、学ぶ意欲や自ら学び考える力の向上のために、学びの向上さいたまプランを策定し、基礎学力定着プログラム、国語力向上プランなどを推進します。また、児童生徒の得意分野を育成するために、(仮)全ての子どもに得意分野づくりプログラムを策定し推進していきます。</p> <p>〔指導1課〕</p>	<p>構想・検討</p>	<p>学びの向上さいたまプラン、基礎学力定着プログラム、国語力向上プランの策定 (17年度)</p> <p>(仮)全ての子どもに得意分野づくりプログラムの策定 (18年度)</p> <p>推進</p>



## 第2節 生涯学習の振興

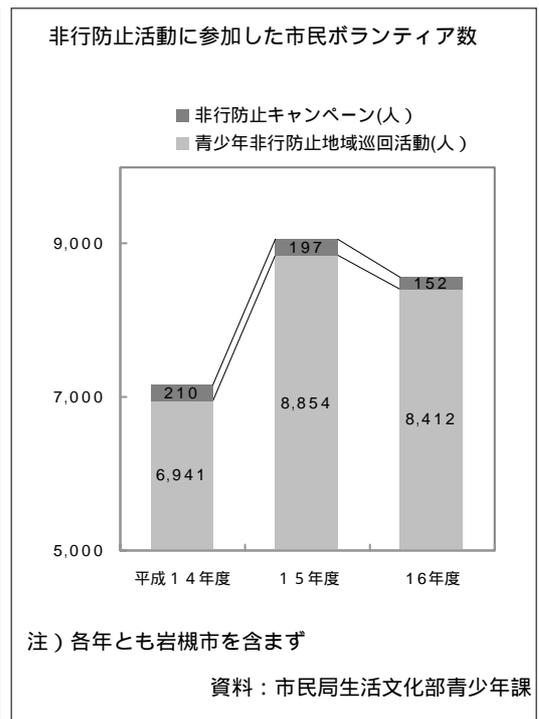
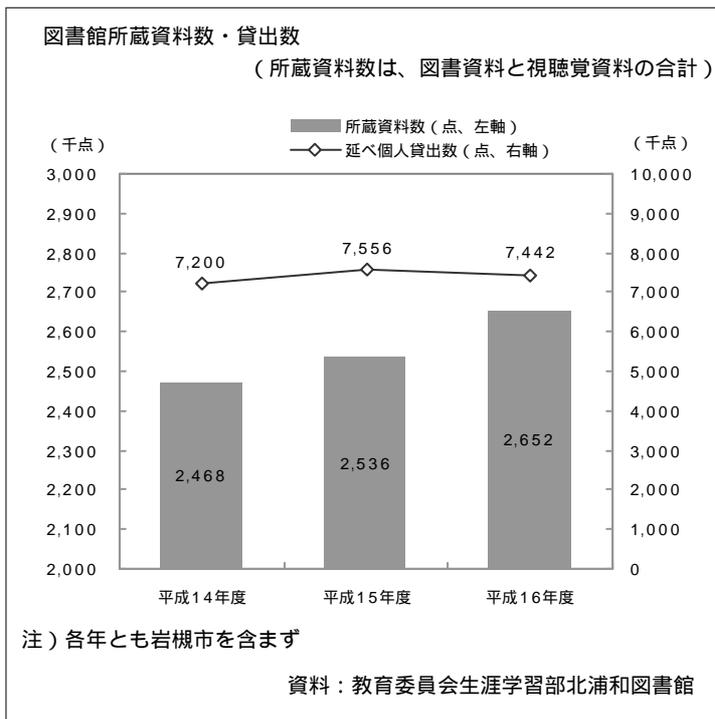
### 施策体系



### 施策の方向性

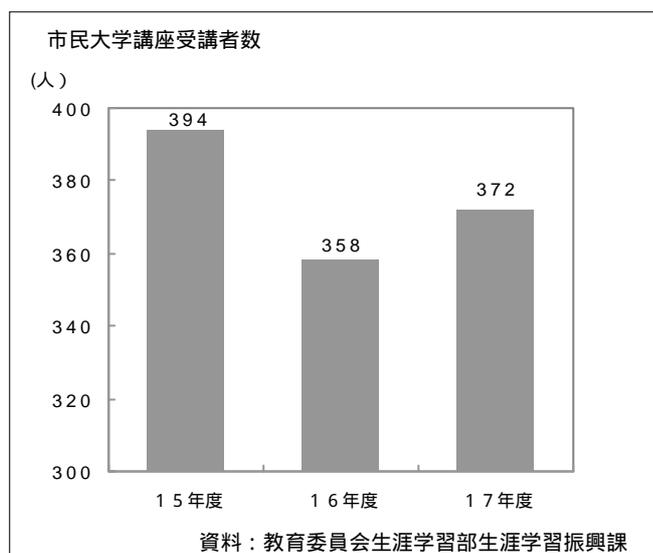
- 生涯学習活動の機会を拡大します。
- 図書館を充実します。
- 青少年の健全育成に地域で取り組みます。

### 参考データ



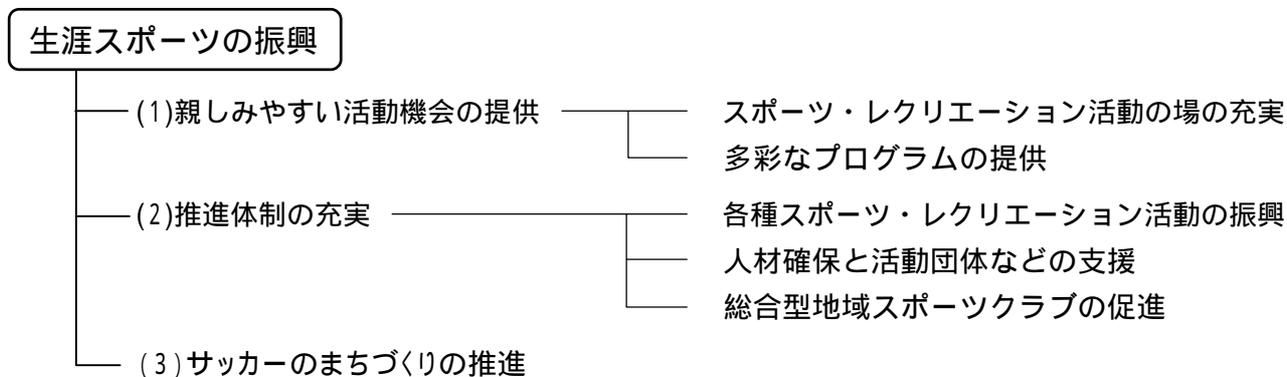
## 実施計画事業

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況(平成17年度当初)	平成20年度末
<b>図書館整備事業</b> 市民の主体的な学習の場として需要の高い図書館を充実するため、(仮)中央図書館(浦和駅東口市街地再開発ビル内)や地区図書館(片柳図書館、北図書館)を整備します。 〔北浦和図書館・大宮図書館〕	事業中	片柳図書館 開設 (18年度) (仮)中央図書館、 北図書館開設 (20年度)
<b>市民大学の充実</b> 市民の高度で専門的な学習意欲に対応するため、市民大学の講座内容を充実し、魅力的なカリキュラムづくりを進めるとともに、各生涯学習施設と連携し多様な学習機会の場を提供します。 〔生涯学習振興課〕	受講者 372人/年	500人/年
<b>(仮)鈴谷地区公民館建設事業</b> 地域住民の生涯学習とコミュニティの活動拠点となる公民館を鈴谷地区に整備します。 〔生涯学習総合センター〕	検討	開設 (19年度)
<b>青少年の健全育成事業(再掲 p114)</b> 青少年の健全育成のため、青少年が主体的に参加できる成人式や青少年の主張大会の開催、青少年育成さいたま市民会議が行う地域巡回活動や非行防止キャンペーンへの支援、青少年健全育成を目的とした市民活動への支援などを行います。 〔青少年課〕	推進	推進



## 第3節 生涯スポーツの振興

### 施策体系

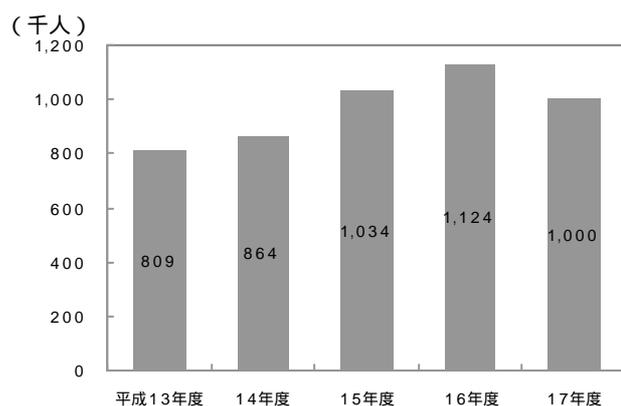


### 施策の方向性

スポーツ活動の機会を拡大します。  
サッカーに親しむ機会を増やします。

### 参考データ

市立体育館などの利用状況（浦和駒場体育館、記念総合体育館、大宮体育館、与野体育館、浦和西体育館、大宮武道場の利用者数の計）



注) 平成17年度は18年1月末、その他は年度末現在

資料：教育委員会生涯学習部体育課

## 実施計画事業

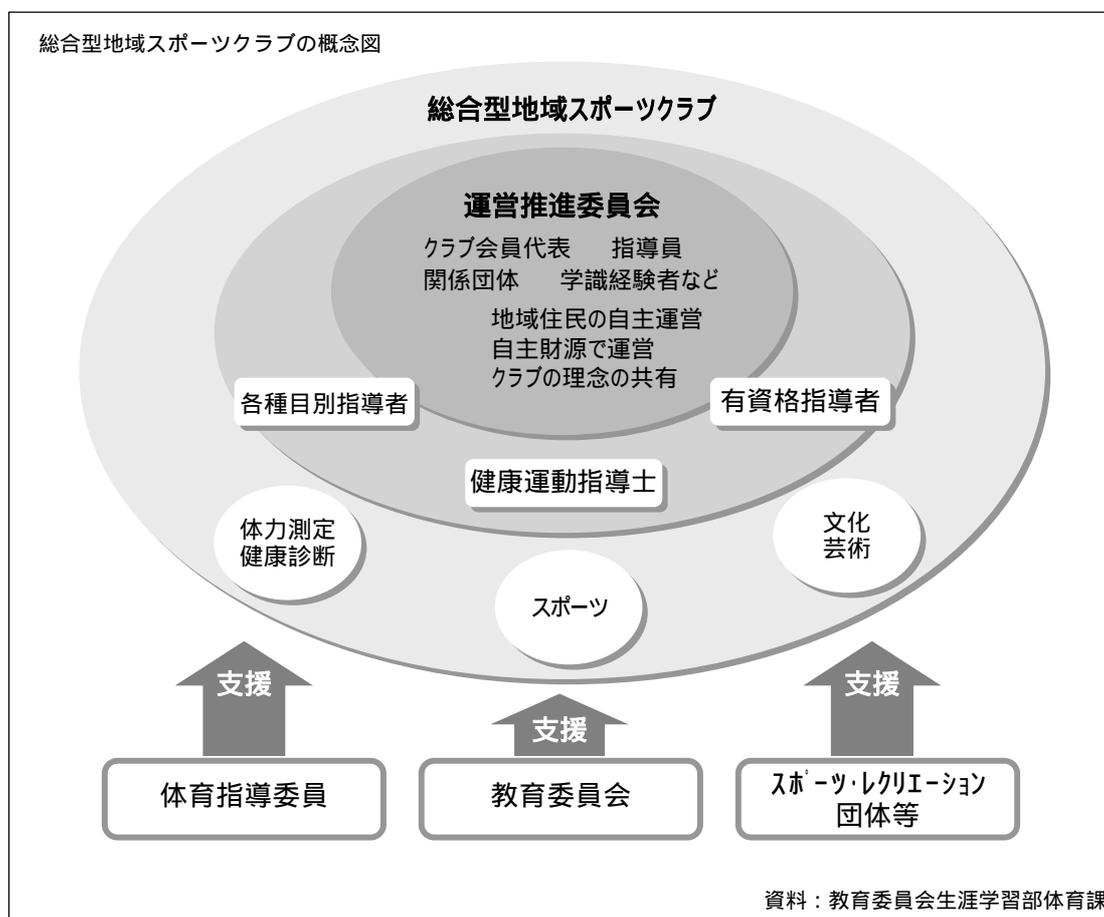
事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	平成20年度末
<p>秋葉の森総合公園整備事業（再掲 p91）</p> <p>緑に囲まれた豊かな自然環境の中で、快適にスポーツを楽しむ多目的スポーツ広場を整備します。</p> <p>〔公園みどり課〕</p>	事業中	<p>ピクニック広場整備 （17・18年度）</p> <p>散策路整備 （19・20年度）</p> <p>事業中</p>
<p>校庭開放夜間照明整備事業</p> <p>市民の身近なスポーツ・レクリエーション活動の場として、市内小中学校の夜間開放を行うため、照明設備未設置の学校での整備を計画的に進めます。</p> <p>〔体育課〕</p>	設置済 18校	22校
<p>障害者のスポーツ参加の推進（再掲 p48）</p> <p>障害者のスポーツ活動の促進のため、全国障害者スポーツ大会等に参加するとともに、障害者スポーツ教室の開催、障害者の交流の場であるふれあいスポーツ大会についても充実を図ります。</p> <p>〔障害福祉課〕</p>	初級障害者スポーツ指導員養成 0名 推進	120名 推進
<p>国際スポーツイベントの開催支援・招致（再掲 p121）</p> <p>埼玉県を主体として開催される「2006年FIBAバスケットボール世界選手権」の会場市として県と連携し、大会を支援します。また、各種国際スポーツ大会の招致に取り組み、さいたま市を世界に発信します。</p> <p>〔スポーツ企画課〕</p>	バスケットボール世界選手権開催準備	バスケットボール世界選手権開催 （18年度） 推進

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況 平成17年度当初	平成20年度末
<p>シティマラソンの開催</p> <p>市民のスポーツに対する意欲・関心を促すため、全国規模のマラソン大会を開催します。</p> <p>〔体育課〕</p>	<p>参加者 3,500人/年</p>	<p>4,000人/年</p>
<p>さいたま・たていわ親善ツデーマーチの開催 (再掲 p122)</p> <p>友好都市の市民がともに村内を歩き、豊かな自然や地域文化への理解、健康・体力づくりをテーマに交流を図るツデーマーチを開催します。</p> <p>〔体育課〕</p>	<p>参加者 163人/年</p>	<p>200人/年</p>



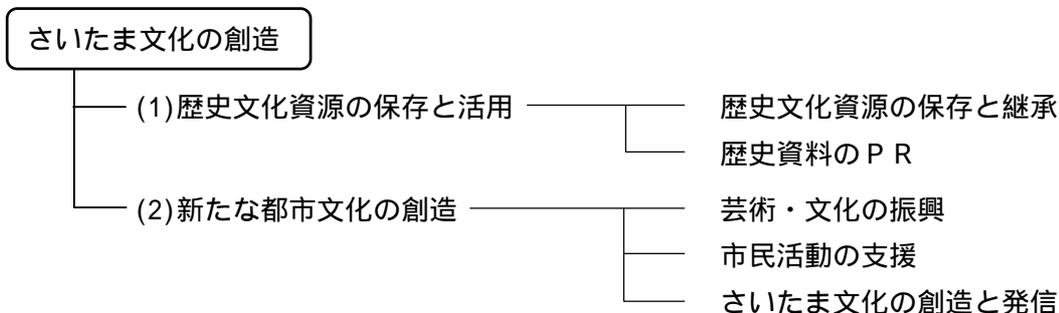
2005 さいたまシティマラソン

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現状(平成17年度当初)	平成20年度末
<b>総合型地域スポーツクラブ支援事業</b> 「一市民一スポーツ」を基本理念に、多種目・多世代による地域の自主的な企画・運営を行う総合型地域スポーツクラブづくりを支援します。 〔スポーツ企画課・体育課〕	総合型を目指して活動しているクラブ数 9クラブ(8区)	各区 1クラブ以上
<b>さいたまシティカップ開催事業(再掲 p121)</b> 浦和レッズ・大宮アルディージャと世界の強豪クラブチームとの国際親善試合を定期的開催し、多くの市民に世界の一流プレーを間近でみる機会を提供し、「サッカーのまちづくり」を国内外に発信します。 〔スポーツ企画課〕	累計入場者数 109,910人	360,000人
<b>サッカーのまちづくり推進事業</b> サッカーのまちづくり推進協議会による高校サッカー選手団海外派遣や浦和レッズ、大宮アルディージャへの支援などを行い、サッカーを核とした市民スポーツの振興、地域の活性化を推進します。 〔スポーツ企画課〕	市内の施設でサッカーに親しんだ(競技、観戦した)人々の数 1,293,000人/年	1,500,000人/年



## 第4節 さいたま文化の創造

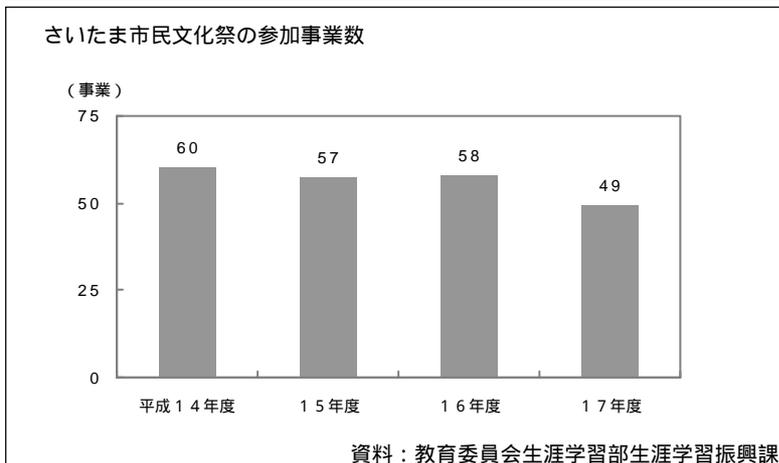
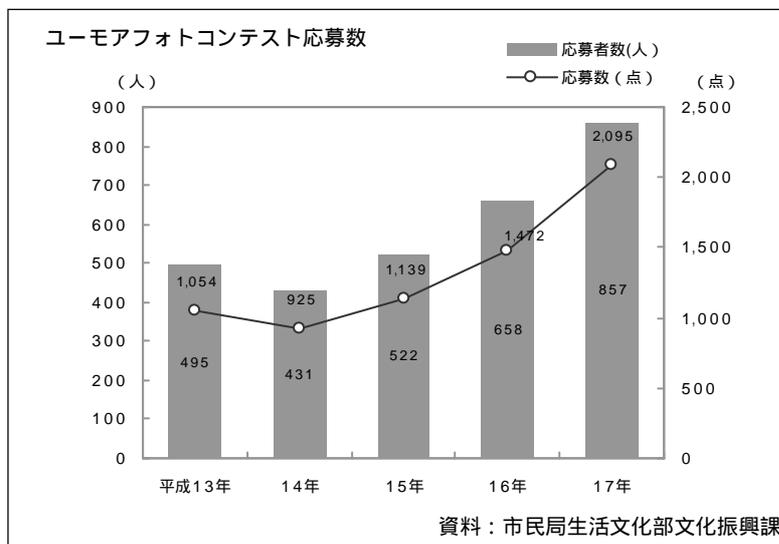
### 施策体系



### 施策の方向性

地域文化を生かし、さいたま文化を創造します。  
市民の文化活動をより活発にします。

### 参考データ



## 実施計画事業

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況(平成17年度当初)	平成20年度末
<p>盆栽文化の振興・活用(再掲 p102)</p> <p>盆栽文化振興・活用基本構想に基づき、盆栽関連施設を整備し、施設を核とした盆栽文化ネットワークを構築します。また、盆栽村の積極的なPRを行い、盆栽文化を振興します。</p> <p>〔総合政策担当・文化振興課・観光政策室〕</p>	盆栽村来訪者 20万人/年	40万人/年
<p>氷川参道の整備(再掲 p78)</p> <p>都心における緑や歩行者のネットワークを形成するため、氷川参道(大宮中央通線以南)をうるおいのある歩行者空間として整備します。また、地元まちづくり組織等とのパートナーシップにより緑の保全を図りつつ沿道等のまちづくりを進めます。</p> <p>〔大宮駅周辺計画管理課〕</p>	氷川参道(大宮中央通線以南)における歩行者空間の確保率 41.6%	100%
<p>見沼通船堀公園整備事業</p> <p>国指定史跡の見沼通船堀と周辺の斜面林を取り込み、見沼田圃の環境に調和した、歴史と自然に触れ合える総合公園を整備します。</p> <p>〔公園みどり課〕</p>	事業中	事業中
<p>鉄道博物館の整備促進(再掲 p102)</p> <p>東日本鉄道文化財団による鉄道博物館の整備に伴い、本市の地域資源である鉄道文化を生かした魅力あるまちづくりを促進します。</p> <p>〔文化振興課〕</p>	促進	完成 (19年度)

鉄道博物館のイメージ



資料：財団法人東日本鉄道文化財団より

事業の名称と概要 〔担当課室〕	計画目標	
	現況〔平成17年度当初〕	平成20年度末
<b>スポーツ文学賞事業</b> スポーツと芸術文化活動が盛んな本市のアピールのため、全国からスポーツをテーマとした文芸作品を募集し、作品集「SPORTS STORIES」を刊行します。 〔文化振興課〕	推進	推進
<b>漫画・ユーモア文化の振興事業</b> 地域の特色ある文化資源である漫画の重要な要素としてのユーモアをもとに、心の豊かさを実感できる場や機会を提供するため、国際漫画フェスティバルやユーモアフォトコンテストなどの事業を積極的に展開し、新たな都市文化の創造を目指します。また、(仮)ユーモアセンターをプラザノースに整備し、漫画・ユーモア文化の展開・情報発信を行います。 〔文化振興課〕	推進	推進
<b>(仮)岩槻人形会館整備事業(再掲 p102)</b> さいたま市の伝統文化のひとつである人形文化を広く内外に発信し、生きた文化として継承するため、地域の魅力とにぎわいを高める拠点ともなる(仮)岩槻人形会館を整備します。 〔文化振興課〕	構想・検討	完成
<b>歴史的資源の保存・整備事業</b> 貴重な文化遺産である文化財を次世代へ継承するとともにその活用を図るため、国指定史跡真福寺貝塚や県指定史跡岩槻藩遷喬館などの文化財の保存整備を進めます。 〔文化財保護課〕	推進	推進



ユーモアフォトコンテスト 2005  
 最優秀賞「眠いよ」 本橋 庄一郎さん(大阪市)